

# 水道ビジョンアンケート結果報告

「令和元年9月30日現在」

水道部では、平成30年度に策定した「丹羽広域事務組合水道ビジョン【概要版】」を住民の方々に広く知っていただくため、両町の広報誌（6月号）に折込み配布しました。また、水道ビジョンに関するアンケート調査を併せてお願いしたところ、多くの方からご回答いただきました。

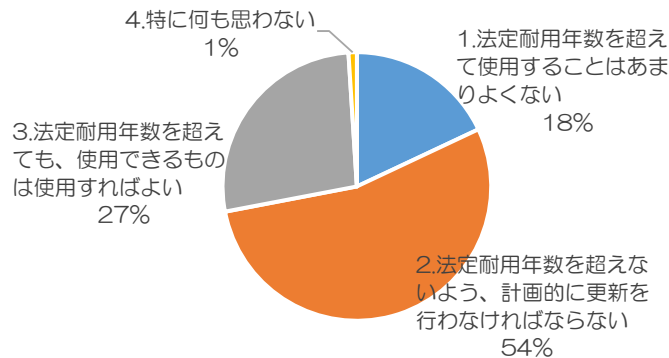
アンケートにご協力いただいた住民の皆様にはお礼を申し上げます。なお、このアンケートにより得られた結果とお寄せいただいた多くの貴重なご意見につきましては、十分な検討を行ったうえ、今後の水道事業運営に活用してまいりたいと考えております。（回答数 126件）

## 【Q1：更新需要の増加について】

水道部の所有する水道管のうち約36%が既に法定耐用年数を超えており、今後その割合は急激に増加します。

耐用年数は法律で定められており、更新時期の目安とされています。災害に強い水道管路を維持するためには、法定耐用年数を目安に更新していくことが重要です。

法定耐用年数を超えた管路を使用することについて、あなたはどのように思いますか。

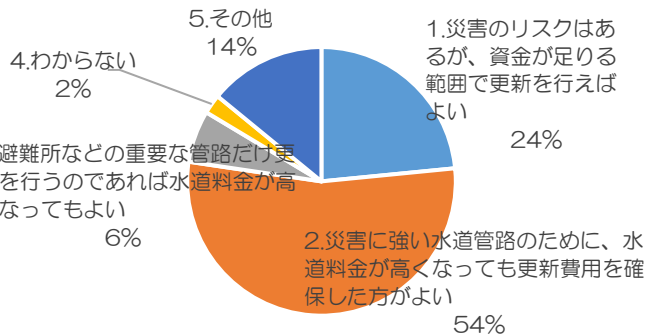


項目	回答数	割合
1.法定耐用年数を超えて使用することはあまりよくない	24	18%
2.法定耐用年数を超えないよう、計画的に更新を行わなければならない	73	54%
3.法定耐用年数を超えても、使用できるものは使用すればよい	36	27%
4.特に何も思わない	1	1%

## 【Q2：資金の確保について】

水道事業は、水道料金収入で経営を行っています。今後、法定耐用年数で施設更新をする場合、工事費用は直近5か年の年間平均額の約2.2倍の費用が必要となりますが、人口の減少に伴い、減収することが予想されています。

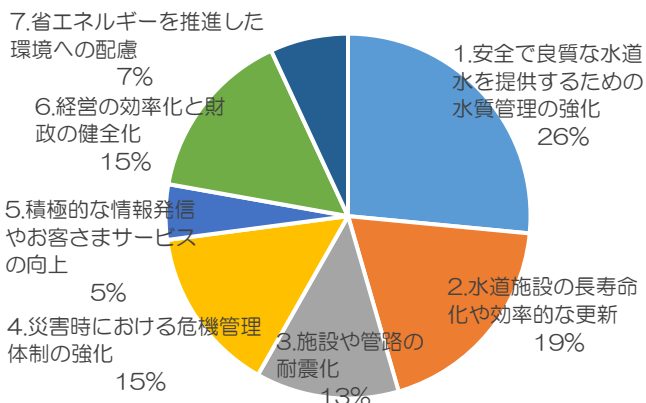
更新に必要な資金を十分に確保できないおそれがあることについて、あなたはどのように思いますか。



項目	回答数	割合
1.災害のリスクはあるが、資金が足りる範囲で更新を行えばよい	30	24%
2.災害に強い水道管路のために、水道料金が高くなっても更新費用を確保した方がよい	69	54%
3.避難所などの重要な管路だけ更新を行うのであれば水道料金が高くなってもよい	8	6%
4.わからない	3	2%
5.その他	18	14%

## 【Q3：施策の概要について】

水道部では、『いつでも・どこでも・いつまでも』を基本理念に掲げ、将来にわたりお客様に安全で安心できると信頼される水道であり続けるため、安全・強靱・持続の観点で施策を掲げています。あなたの重視して欲しい施策はどれですか。（複数回答可）



項目	回答数	割合
1.安全で良質な水道水を提供するための水質管理の強化	92	26%
2.水道施設の長寿命化や効率的な更新	66	19%
3.施設や管路の耐震化	44	13%
4.災害時における危機管理体制の強化	51	15%
5.積極的な情報発信やお客さまサービスの向上	17	5%
6.経営の効率化と財政の健全化	53	15%
7.省エネルギーを推進した環境への配慮	24	7%